

プログラム名 (40字以内)	「坂のまち長崎」で学び、暮らす。		
団体名/所属	長崎市企画政策部都市経営室		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	4人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/9月下旬頃の2泊3日を予定 (8月中旬～下旬の可能性もあり) ※詳細は7月下旬頃の事前学習の際に 調整して決定します。	主な活動予定場所	長崎県長崎市内
プログラム実施の目的	斜面地が多い長崎市の取組みを学び、斜面地の暮らしを体感していただきたい。また、斜面地の課題について考え、今後の街づくりについて政策提案してもらうことを目的とする。		
具体的な内容(800字程度)	●長崎市は、長崎港・街の中心部を山々が囲み、地形的な制約から平地が少なく、斜面地に家が建ち並び、市街地が形成され、「坂のまち」と言われている。地域住民の高齢化が進む中、日常生活の不便さを解消するため、斜面地における住環境整備の取組を行っています。また、斜面市街地の空き地を活用した「さかのうえん(坂+農園)」や斜面地の空き家を活用し、シェアハウス・コミュニティスペースとして活用を行う団体等の活動も注目されています。 そこで、長崎市の斜面地を中心としたフィールドワークを行っていただき、ワークショップや市長との意見交換も踏まえ、斜面地におけるまちづくりについての政策を提案していただきたい。 ①事前学習 オンラインにて、長崎市のまちづくり(全般)、斜面地における環境整備等の取組についての事前説明を行う予定です。 ②現地体験活動(フィールドワーク・意見交換等) 【1日目】午前:東京(成田・羽田)▶長崎空港 午後:フィールドワーク①、意見交換 【2日目】終日:フィールドワーク②、フィールドワーク③、ワークショップ 【3日目】午前:長崎市長との意見交換 午後:長崎空港▶東京(成田・羽田) (フィールドワークメニュー)※次のメニューから協議・調整のうえ、実施する予定です。 1. 斜面農園「さかのうえん」・・・農園での現地レクチャーと農業体験 2. 空き家活用団体つくる邸・・・斜面地空き家活用視察、管理者との意見交換 3. 東山手・南山手洋館群・・・斜面地の洋風住宅群の視察 4. 斜面地に関する整備事業・・・斜行エレベーター、斜面市街地の住環境整備や車みち整備事業等について現地視察 ③事後報告 現地体験活動終了後、斜面地におけるまちづくりについて政策提案資料をご提出いただきたい。		
【総額】参加するための費用	約70,000円(宿泊費・交通費)+その他費用		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	約20,000円 ※想定: @10,000円/泊×2泊		
【内訳】参加するための費用(交通費)	約50,000円 ※航空機利用のため概算額		
【内訳】参加するための費用(その他)	体験料・食費等実費相当額		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	※参加するための費用は目安となります。プログラムの日程が確定次第、ご案内いたします。 ※プログラム日程は参加者の要望をヒアリングの上、調整いたします。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	特になし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	○長崎市HP(斜面地に関する記事) ○長崎市HP(坂のまちの交通手段)		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		